

## 会議録

会議の名称	小中学校通学区域見直し等に関する谷戸町・泉町・住吉町・ひばりが丘地域協議会（第2回）
開催日時	平成22年8月4日（水曜日） 午後2時00分から午後3時55分まで
開催場所	西東京市立中原小学校 図書室
出席者	委員：屋宮茂穂、清水理恵、藤原久子、加瀬裕子、西潟克夫、神山繁樹、青木由美、蔵方由紀、河野美晴、池田めぐみ、八巻真実、熊澤義夫、齋藤雅子、前野陽子、齋藤勝利、清水則之、門馬晶子、嶋田実穂、楠本善之助、西嶋剛昭、西岡一美、住田佳子、大野雅生、田代裕子、百瀬英子、佐藤裕子、二谷保夫 事務局：櫻井勉（教育企画課長）、清水達美（教育企画課企画調整係長）、後藤幸男（教育企画課学務係長）、相澤潤子（教育企画課企画調整係主任）、坂本義隆（教育企画課企画調整係主任）、山岡昇（教育企画課学務係主任）
議題	1 開会 2 会議録の確認 3 資料説明 4 意見・質問 5 次回の開催日程について 6 閉会
会議資料の名称	資料1 現状の学区域（小学校、中学校） 資料2 通学校分布図（小学校、中学校） 資料3 児童・生徒数の推移（過去3年間） 資料4 意見・質問等シートの集計結果（速報）
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>議題1 開会</p> <p>議題2 会議録の確認 第1回の会議録は委員の承認が得られたものとし、（案）を外して正式な会議録とする。</p> <p>議題3 資料説明（事務局から） 資料1から4の説明</p> <p>議題4 意見・質問 ○副会長：</p>	

資料2を見たところ、谷戸小と中原小の指定校変更特例措置を利用している人がこれだけいることに驚いている。特例措置をなくしていいのか、不安である。

○委員：

資料1を見たが、自分が住んでいる町以外の状況を必ずしも把握できていない。子どもたちが通学する場合の事故の件数などはどのような状況なのか。

○会長：

特例措置を利用している人が多いが、例えば、現状のまま特例措置を一切認めないとすると、どういう状況が考えられるか。前回の会議で、中原小は教室が足りないことや、建替えの話題も出ている。資料1で中原小の通学区域の飛び出した部分なぜこのような状況になったのかは、過去にさかのぼらないとわからないことであるが、この部分を切って谷戸小の通学区域とした場合、どんなことが考えられるか。

○委員：

谷戸町二丁目のマンション等は、本来旧田無市の地域にあったので、谷戸小の区域のはずだが、教室が足りなくなりそうだから中原小の通学区域に指定されたものだと思うのだが、そのいきさつを知っている人はいるか。

○委員：

人から聞いた話で不確実だが、ヌーベルヴィラージュ、グランジオ武蔵野、コスモひばりが丘ができた時点で谷戸小はパンク寸前であり、戸建て部分は中原小の通学区域になるので、谷戸小の学校説明会へ行った人は、なるべく特例措置を使わず、中原小へ行ってほしいと言われたということである。

○会長：

ヌーベルヴィラージュ、グランジオ武蔵野が先に建ち、基本的には谷戸小に通っていた。その後戸建ができて収容できなくなり、中原小へ行くようになったということか。

○委員：

そのようである。

○会長：

現在は中原小もいっぱいになってきているので、どのようにそれぞれの学校規模にあわせて調整していくのか、考えていかななくてはならない。

○事務局：

谷戸町二丁目の中原小の通学区域の飛び出した部分については、平成15年当時、本来谷戸小学校の通学区域であったということである。もしここを宅地開発した場合、谷戸小の通学区域に指定してしまうと収容できないことがわかったため、中原小の区域にしたという経緯がある。

その後も開発があり、教習所の跡地にも集合住宅が建設中であり、これらも考慮した通学区域の見直しが必要となっている。

どのくらい児童・生徒が入居するのか、近隣マンション等の出現率も考慮し、一定のシミュレーションを示していきたい。

○委員：

指定校に戻せばいいという簡単な話ではないと思う。例えば谷戸小では、昨年5・6年生が2クラスあった。今年は5年生が3クラスになった。第1学年で言うと、特例措置利用で38人中原小へ行ってしまった。それにより新1年生が3クラスになるはずだったが、2クラスになってしまった。来年度どのくらい入学してくるのか、動向の説明がないと、話がまとまっていけない。それを踏まえて、収容人数の問題や教室の用意などを考えていかなければならない。

○委員：

去年谷戸小の役員をしていた人に聞いたが、ここ数年間は、幼稚園単位で動いているようだ。学校の内容や距離ではなく、友人関係らしい。幼稚園との協力体制をとっていないと難しいと感じている。

○委員：

同じマンションで同じ幼稚園に通っていれば、学校も同じところに通いたいようだ。特例措置が使えるので、あえてそれを使っている。

○委員：

「特例措置」の内容がわからない。

○会長：

西東京市の指定校変更の一部である。特例措置を解消したら、全て解決するというわけでもなさそうである。

○委員：

特例措置は学校選択制度とは別枠で、人数の制限がないので、気軽に動いてしまうのではないか。

(事務局から指定校変更特例措置、学校選択制度との違いを説明)

○副会長：

違いは理解したが、なぜ特例措置を谷戸町二丁目のマンション等の辺りで使えるようにしたのか。

○委員：

グランジオ武蔵野に住んでいて、中原小に通わせている。理由は、ほとんど公道を使わず、マンションの敷地を通して通えることと、特例措置が使えるためである。

○委員：

合併後1、2年なら経過措置で特例措置があるのはわかるが、もう10年たっている。子

どもにとって安全であるなどの理由があるのなら理解できるのだが。学校選択制度なども含め、教育委員会が安全などをきちんと考えているのか。極端に遠い学校へ通ったりもしているのか。

○会長：

合併から結果的に10年経ってしまった。この協議会で特例措置を廃止しようとしているのか。

学校選択制度についてのことは実態はわからないかもしれないが、どうか。

○事務局：

学校選択制度で遠方の学校に行っているかという質問だと理解しているが、小学校では、家からより近い学校に行きたいが、特例措置がない地域のために行けない場合に学校選択制度を利用しているようである。遠くに通っているかということについては、窓口で受付をしている中で極端に遠い学校を選択している印象はない。

○会長：

小学校の場合は、通学距離をおおむね考慮しているようである。

○副会長：

資料2を単純に見ると、指定校でないところに特例措置を使って通っている人数が100何人もいる。こんなに受入枠があるのか。

○会長：

どのくらい受入枠があるのか、というデータはあるのか。

○事務局：

今、空いている教室数、新1年生の人口推計の資料を用意することは可能である。

○会長：

一度グループに分かれて意見交換をしてはどうか。その後どのような話が出たか発表していただき、事務局に吸い上げてもらいたい。

(3グループに分かれて討議。のち再開し発表)

○第1グループ：

- ・谷戸新道をまたぐ通学区域の再編は、交通安全上避けたい。
- ・郵政宿舍の動向はどうか。万が一マンションになった場合でも耐えうるような通学区域にすべきである。
- ・ひばりが丘四丁目のフォレストレイクは、けやき小に行く事にしてはどうか。
- ・特例措置をすべて解消したときに、各学校の人数はどのようになるのかの資料がほしい。

○第2グループ：

- ・特例措置の10年は長すぎた。
- ・学校選択制度はこれからも続くであろうから、受け皿は厳しくしないと、おそらく今後も幼稚園単位で移動するなどの現象が続くであろう。
- ・安全面、人口増加を見据えながら、通学区域の割り振りを大きく見直すべきである。

○第3グループ：

- ・田無二中とひばりが丘中は距離が近いので、垂直二等分線で分けると簡単だが、それでは、安全や地域の関係から全く意味が無くなる。現実的にはコスモひばりが丘、グランジオ武蔵野などの中原小学校の通学区域の飛び出した部分の特例措置を解消していただきたい。
- ・小学校同様、中学校でも特例措置を使ってグループで動くようなことが隔年で起こっている。1クラス分の人数の移動があると、教員の人事にも関わり学校の経営が成り立たなくなる。それらを考慮したシミュレーションを示してほしい。
- ・地域を作るためにも通学区域は固定化してほしい。

○会長：

次回までに特例措置を外した場合の推定人数、今後の児童・生徒数の推移の資料を提出していただきたい。  
また、けやき小への話が出たが、この協議会で話し合えるのか。

○事務局：

大きな道路を2つ横断する事になり、距離や安全上問題があるため、基本的に考えない。

○会長：

では、本協議会ではけやき小のことは考えない。  
第2グループから人口増加のことが出たので、今後の児童・生徒数の推移を参考にしながら考えていきたい。  
第3グループから、谷戸町二丁目のマンションの辺りについて意見が出たが、特例措置を外した場合の推定人数について資料が提出される予定なので、それを見ながら検討していきたい。  
合併してできたいびつな形の通学区域の割り振りなので、簡単に線引きするわけにはいかないと思っている。

○副会長：

各学校の最大何クラスが最適なのか資料がほしい。

○会長：

空き教室の調査資料は、次回までに出せるか。

○事務局：

可能である。

○会長：

では、その3種類の資料を用意していただきたい。

議題5 次回の開催日程

○会長：

次回は10月7日（木曜日）午前9時30分から泉小学校で開催したい。

議題6 閉会